

令和7年度 第2回技術部会

C3部会 2月7日(土) 全国高等学校体育連盟体操専門部

==== 審議事項=====

1. 令和8年度 高校適用規則(競技規則、採点規則)の確認
2. 令和8年度 全国高校総体(兵庫)大会実施要項について
3. 令和9年度 全国高校総体(神奈川・千葉)大会実施要項について
4. 令和7年度 全国高校選抜(体操競技:長野・新体操:福井)大会実施要項について
5. 令和8年度 全国高校選抜(宮崎)大会実施要項について
6. その他
 - (1) インターハイ改革について(別紙参照)
 - (2) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

==== 審議結果=====

1. 令和8年度 高校適用規則(競技規則、採点規則)の確認
 - (1) 令和7年度以降大会の個人競技手具の確認(ご覧いただきたい)

	全国高校総体			全国高校選抜				国民スポーツ大会					
	個人手具		開催地	個人手具				開催地	個人手具				開催地
令和7(2025)年度	Ro	Cl	山口	St	Ri	Ro	Cl	福井	St	Ri	Ro	Cl	滋賀
令和8(2026)年度	Cl	St	兵庫	St	Ri	Ro	Cl	宮崎	St	Ri	Ro	Cl	青森
令和9(2027)年度	St	Ri	千葉	St	Ri	Ro	Cl	岩手	St	Ri	Ro	Cl	宮崎
令和10(2028)年度	Ri	Ro	岐阜	St	Ri	Ro	Cl		St	Ri	Ro	Cl	長野
令和11(2029)年度	Ro	Cl	沖縄	St	Ri	Ro	Cl		St	Ri	Ro	Cl	群馬

手具表記: St(スティック)、Ri(リング)、Ro(ロープ)、Cl(クラブ)

開催地で空欄になっている箇所については、委員総会資料を御確認いただきたい。

- (2) 高校適用規則(競技規則、採点規則)について【主要役員承認】

- ① 2025年版採点規則の追加と訂正(2026.1.25)について
 - ・ 通例により、R7年度選抜大会(福井)から採用する。
- ② 炭酸マグネシウムの使用について【主要役員承認】
 - ・ (公財)日本体操協会主催大会の基準に準じ、R8年度より使用を認める。なお、炭酸マグネシウムは各参加校が持参・準備することとする。炭酸マグネシウム使用時には、上靴等を活用し、会場を汚損しないよう十分に注意すること。
 - ・ R7年度選抜大会(福井)における炭酸マグネシウムの扱いについては、会場側が使用を許可したことから使用を認める。

2. 令和8年度 全国高校総体(兵庫)大会実施要項について

- ・ 特になし。

3. 令和9年度 全国高校総体(体操競技:神奈川/新体操:千葉)大会実施要項について

- ・ 男子練習会場予定の中学校体育館において、①天井の高さが低いこと、②仕切りネットのワイヤーがフロア上に位置していること、の2点が確認され、練習に支障をきたす可能性がある。以上を踏まえ、練習会場の再検討を要望した。

4. 令和7年度 全国高校選抜(体操競技:長野/新体操:福井)大会実施要項について

- ・ 特になし。

5. 令和8年度 全国高校選抜(宮崎)大会実施要項について

- ・ 特になし。

6. その他

(1) インターハイ改革について（別紙参照）

- ・ 特になし。

(2) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

① 全国総体における男子個人の特別抽選について【R7 第 2 回委員総会で承認】

令和 7 年度より、演技順は 1 班および 2 班（計 6 名）によるローテーション方式とした。

この変更に伴い、従来 1～3 班を対象としていた特別抽選は、1・2 班を対象とするよう変更する。

② 団体補充枠配当の優先順の決定要領の変更について【R7 第 2 回委員総会で承認】

令和 8 年度は現行の補充枠選定を継続し、令和 9 年度から新方式を導入する。

前年度の加盟実施校数を基礎データとし、実施校のある都道府県数で割ることにより各都府県の実施校平均を求め、この結果に基づき全国委員長が補充枠の優先順位案を作成する。ただし、平均値が同率となった場合の優先順位の決定方法については、該当年度までに専門部および技術部において協議し、定めるものとする。

③ 手具点検ボードについて【主要役員承認→ボードは備品】

- ・ 現状、その大きさと重量により輸送費が高額となっているため、今後は開催地にてご準備いただくこととしたい。なお、点検ボードの保管自体は今後も継続するため、使用を希望される場合は事前にご連絡いただきたい。

④ 選抜大会「個人枠」の男女差について【日本体操協会と全国高体連に打診予定】

- ・ 選抜大会の個人枠は、女子 24 名に対し男子 22 名と 2 枠差がある。運営面・競技環境の面から、男子個人枠の増枠を検討いただきたい。

⑤ 選抜大会の試技順（班の回り方）について【主要役員承認】

- ・ 1 日開催で前半・後半の班順を入れ替える方式では、演技間に差が生じ公平性に課題がある。そのため、前半・後半とも同一（A～D 班）の演技順で進行する運用を検討いただきたい。

⑥ 高校総体と選抜の開催地について【継続審議】

- ・ 西日本では、全国総体が開催される時期に台風や大雨などの自然災害が多く発生しているという課題がある。こうした状況を踏まえ、全国総体の開催地を固定するなど、開催方式に工夫ができないかという意見もあった。

⑦ 大会参加申込について【継続審議】

- ・ 全国高校選抜大会の申込方法について、JGA（日本体操協会）の申込システムを利用できるようにしてはどうかという意見もあった。

日本体操協会より（男子新体操委員会 大舌様）

- ・ 炭酸マグネシウムの使用を許可する関係もあり競技面の後ろから入場することに変更。
- ・ ルール改正についての説明。今後も新しい情報があげられていく可能性があるので留意してほしい。

高体連適用規則（令和8年度）

1 次に示すものを除き、（公財）日本体操協会男子新体操規則による。

(1) 禁止技について

団体競技・個人競技ともに下記の技を禁止する。なお、禁止技を行った場合は、その演技（D得点およびA得点）を0点とする。（注：いずれも組運動を含む。）

ア 2回以上の縦回転をともなう宙返り

(2) 制限技について

後方系の跳躍技からひねりを伴って直接正面支持臥の技の使用できる回数を1回限りとする。

上記の制限回数を超えて使用した場合は、その演技（D得点およびA得点）を0点とする。

2 演技中の停電の処置について

(1) 演技続行が不可能と判断した場合は、競技部長及び審判長の判断により演技を中断することができる。その場合、再演技を行うことができる。

3 成績順位及び表彰について

(1) 不慮の事故等で種目の棄権があった場合、種目別選手権の表彰対象とする。

4 審判編成基準

審判長

個人競技	D1	D2	A1	A2	A3	A4	E1	E2	E3	E4
団体競技	D1	D2	A1	A2	A3	A4	E1	E2	E3	E4
線審（2名）			開催県							
計時（1名）			開催県							
補審（1名）			開催県							
セクレタリー（1名）			開催県							